

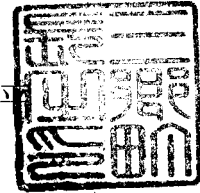


三 環 建 第 819 号

平成 20 年 10 月 15 日

国土交通省道路局長 殿

三郷町長 秋田 新平



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、三郷町道路行政に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成 20 年 9 月 19 日付け、国道企第 37 号で依頼のあった標記の件について別紙様式①～④のとおり回答いたしますので、取り計らいのほど宜しくお願いいたします。

三郷町環境整備部 建設経済課

担当：水 口

TEL：0745-73-2101（内線 342 番）

FAX：0745-32-8625

E-mail：kensetsukeizai@town.sango.lg.jp

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

奈良県 三郷町

本格的な道路整備が始まって以来、わが国の道路事情は格段に改善されたと感じる。

その一方で、大都市圏内の幹線道路網の慢性的な渋滞や、多くの住宅地に残された狭く危険な生活道路、予期される大地震に対する道路網の脆弱性、さらには、地方部における生命線たるべき道路整備の遅れなど道路政策が対応し切れていない問題があるほか、酷い沿道環境や景観など、急速な近代化の中で残された負の遺産ともいうべき問題も残されていると思う。

これらを踏まえた上で、効率的な渋滞対策、地震対策のほか、防災としての道路・市街地整備の促進、あるいは、地域の活性化や美しい国土づくりに向け、沿道・地域と道路とが一体となった道路整備のみならず、環境問題として交通運用面からの対策等を期待するところである。

また、国における高規格道路の建設も重要であると思うが、今後地方道の整備を進めていくにあたっての財源の確保も強く望むものである。

②-1 地域の現状と抱える課題

奈良県 三郷町

○現状

本町では、都市計画事業の推進により道路整備を行ってきており、一定の成果は上がっていると思われる。

しかし、計画決定されていながら未着手の都市計画道路もあり、それらについても今後は推進していくべきと考えるが、財政の逼迫、維持管理費用の増大、下水道事業の推進等々でなかなか着手にまで踏み込めないのが現状である。

また、近年開発された地域や区画整理事業により開発された地域の道路はともかくとして、旧集落やかなり以前に開発された地域では、幅員も狭く、歩道等の整備が不十分な箇所も多い事も見逃せない実情である。

○課題

都市計画道路を推進していく上で連絡道路の整備は必要不可欠である。三郷町と周辺市町の連絡道路は、国道25号線、県道信貴山線、県道椿井王寺線、県道王寺三郷斑鳩線が主となっており、これら道路網の整備をさらに推進する必要があるが、これらの整備を実現する為には、三郷町単独では難しい点も多いことから、周辺市町との連携を保ちながら、広域的な計画を推進していかなければならない。

また、地域住民の生活道路として利用度の高い旧集落等の道路については、道路沿いに民家が建ち並ぶため道路の拡幅や歩道の整備は容易ではないが、誰もが安心して歩ける生活道路の実現に向けて可能な限り既設道路の整備に努めなければならない。

②-2 地域の目指すべき将来像

奈良県 三郷町

これまで形成されてきた住宅地において、安全で快適な生活環境の整備や身近な公園整備、駅前の利便性の向上などによって、快適な住宅都市としての都市基盤整備を進めるとともに、広域的な活動の拠点となる国道25号、168号について、国・県・近隣市町との連携をもとに、その機能の充実を促進していく。

また、地域の一本化を図る県道・都市計画道路については、自動車・歩行者ともに安全・快適に移動できる道路ネットワークを形成していく。

今後の道路行政についての意見・提案

様 式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

奈良県 三郷町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
周辺地域と連絡する道路網の整備	県道椿井王寺線整備事業	慢性的に発生している渋滞の緩和や国道25号線(大阪方面)へのアクセス道路として地域の利便性が向上する。	
安心・安全な生活道路の整備	歩道バリアフリー事業	多くの人が利用する公共施設を取り巻く歩道をバリアフリー化することで、児童をはじめ高齢者など誰でも安心して歩ける生活道路を形成できる。	
地域交通システムの利便性の向上	町内循環バスの運行	地域住民の交通手段を確保することで交通の利便性が向上し、外出する機会が増えると共に地域の活性化に繋がる。	